

## 人生成功の鍵は、目標設定にある

理事長 西河洋一

企業を大きく成長させることができるか、できないか、その違いは何かを私なりに考えてみました。

要素としては、社長の器量、能力、運、資金、良い人材確保、様々なものがあるのかと思います。私の成功の基にあるものは何かと考えると「常に目標を設定する習慣」だと思います。

入社したばかりの時、社長から「貴方は若いから是非これを勉強してみたらどうだ」と自己啓発教材をお借りました。SMIの創設者ポール・J・マイヤーの『人生成功の鍵は目標設定にある』という十数巻からなるカセット教材でした。

新社会人ゆえに、経営などはまるで解らないので、まず、自分の目標ということで「15年後に月50万円の給料を貰える人間になろう」と目標設定しました。

そうすると、色々なものが見えるようになります。零細企業で50万円稼ぐとなると、34歳の時点で部長級の地位となるか、大手企業の課長程度の地位に必ずなるとか、特殊な技術を身に着ける等。では、その地位になるには、どの程度会社に貢献していなければならないのか、何時頃までにどのような資格取得が必要であるのか等、目標達成への道のりの途中で、常に意識するようになりました。

それで、今年はいくらの売り上げを上げ、いくらの利益を出すとか、33歳までに一級建築士に合格するという細分化された目標を立て、それを着実に実現することが習慣となりました。

会社の利益が上がるように一生懸命働き、30歳の頃には一人で現場を任せられるまでになりました。

33歳の時、総工費百億円を超えるゼネコン大手によるJV工事に参加することができました。その時のJV給与が50万円を超え、設定した目標が、1年前倒しで実現したのです。

その後転職し、現在の会社に入社し、程無くして経営者となりました。36歳で社長になり、初めて立てた目標は「3年以内に自社株式の店頭上場を果たし、東証一部まで進む」でした。

平成17年に東証一部上場、その時に立てた新たな目標が、「78歳までに売上1兆円を超える会社の社長になる」と目標を設定、人生最後の目標設定になると考えていましたが、六社統合により27年前倒しで「売上1兆円を超える会社の社長になる」を実現しました。

大きな目標を掲げ、それに向けて日々前進し、途中で諦めずに最後まで粘り達成すれば、大きな成長が得られるものと思います。